

TOSHIBA

日本国内専用品
Use only in Japan

東芝パッケージエアコン 抗菌ガラス付ドレンキャップ 取付説明書

形名 TCB-DCG31U

このたびは東芝パッケージエアコン用「抗菌ガラス付ドレンキャップ」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管して下さい。

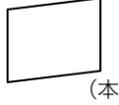
安全上のご注意については、使用する室内ユニットの据付説明書・取扱説明書をご覧ください。

お願い 抗菌ガラス付ドレンキャップの交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1. 適用機種

形名	適用機種
TCB-DCG31U	天井カセット形4方向吹出しタイプ

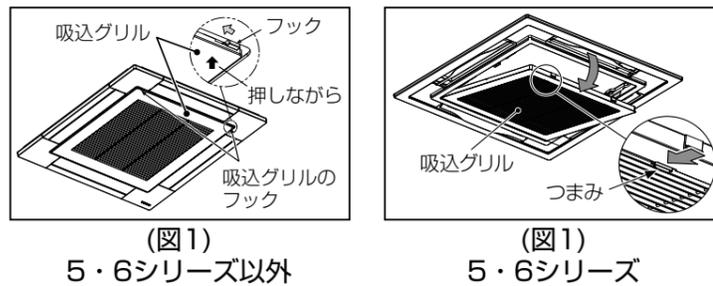
2. 構成部品 (次の部品が入っています)

品名	抗菌ガラス付ドレンキャップ	取付説明書
形状		 (本紙)
数量	1	1

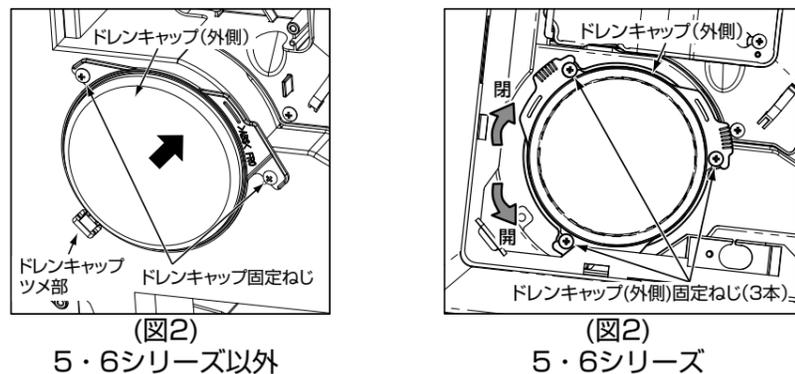
3. 交換方法

1. はずしかた

- 電源を切る
エアコンの運転を停止し、ブレーカーを切ります。
- 吸込グリルの取りはずし (図1)
吸込グリルのつまみ (2カ所) を内側へスライドさせて吸込グリルを吊り下げます。パネルと吸込グリルをつないでいるひもをはずし、吸込グリルをはずします。



- ドレンキャップ (外側) の取りはずし (図2)
ドレンキャップ (外側) を固定しているねじを緩め、「開 →」方向にスライドまたは回転させてドレンキャップ (外側) をはずします。ドレンキャップ (外側) には、ひもが付いているので、吊り下げてください。



警告

自分で分解・改造・修理をしない
火災・感電・けが・水漏れの原因になります。



注意

抗菌ガラス付ドレンキャップの交換時、不安定な台に乗らない
転倒などけがの原因になることがあります。



吸込グリルを開けるときは、電源ブレーカーを切る
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。



取付作業のときは手袋 (※) を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。 ※: 軍手など厚手の手袋

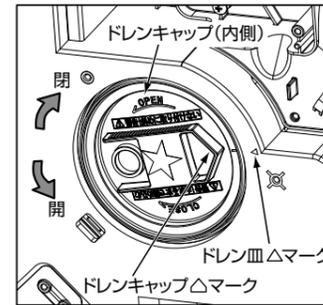


- ドレン皿に溜まった水を抜く (図3)
ドレンキャップ (内側) を「開 ↺」方向に約1回転させてドレンキャップ (内側) を緩め、ドレン皿内に溜まっているドレン水をバケツなどに排水します。

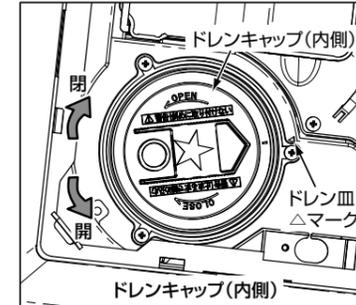
注) ドレンキャップ (内側) を緩めるときは、必ずバケツなどでドレン水を受けてください。またドレンキャップ (内側) を急に緩めると、ドレン水が一気に流れ出ることがあります。

- ドレンキャップ (内側) の取りはずし (図3) (図4)
ドレン水が排水されたのを確認したあと、ドレンキャップ (内側) を「開 ↺」方向に回して取りはずします。

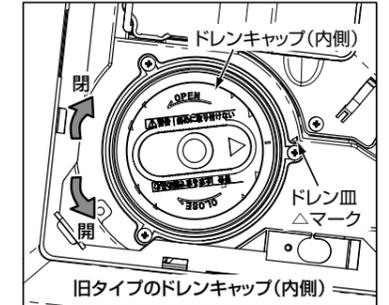
注) ドレンキャップ (内側) は(図3)、(図4)のように2種類ありますが、どちらの場合も同様に取りはずしてください。



(図3)
5・6シリーズ以外



(図3)
5・6シリーズ



(図4)

2. 取り付けかた

注意

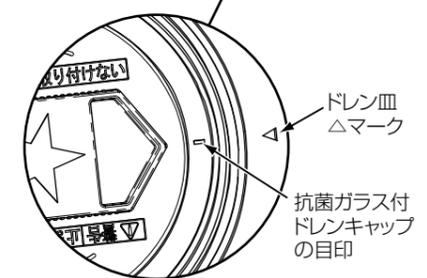
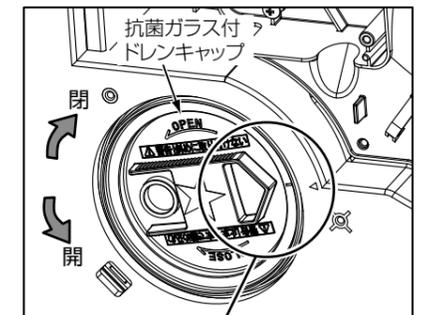
抗菌ガラス付ドレンキャップは斜めに取り付けられない構造になっている
斜めに取り付けようとすると、うまく閉まらず水漏れの原因になります。



ドレンキャップ (外側) を確実に取り付けると、ドレンキャップ (外側) を取り付けないと、水漏れの原因になります。



- 抗菌ガラス付ドレンキャップの取付 (図5)
抗菌ガラス付ドレンキャップを挿入し、「閉 ↻」方向に回らなくなる位置 (ドレン皿の△マークと抗菌ガラス付ドレンキャップの目印が合う位置) まで回し固定します。
- ドレンキャップ (外側) の取付 (図2)
ドレンキャップ (外側) を元通りに固定ねじで取り付けます。
注) 5・6シリーズ以外のドレンキャップ (外側) を取り付けるときは、必ずツメ部を引っ掛けてください。
- 吸込グリルの取付
吸込グリルをパネルに引っ掛けます。
吸込グリルのひもを元通りにパネルに取り付けます。
吸込グリルを閉じてつまみを外側にスライドさせ、吸込グリルを固定します。



(図5)

お願い

交換時期をチェックしていただくために下表に交換日と次回交換日の目安をご記入ください。

今回抗菌ガラス交換日	次回交換予定日
年 月 日	年 月 日

注) 抗菌ガラスは消耗品です。交換の目安は、一般的な冷房運転下において約10,000時間です。(冷房運転を毎日10時間・5カ月間使用した場合、年間では1,500時間となります。気化式加湿器 (別売部品) をご使用の場合は、暖房運転時間も加味してください。)

3. ドレンポンプ遅延設定

- 運転停止後にドレンポンプの遅延運転をすることにより、ドレン皿に溜まるドレン水量を減少させてドレンスライム発生を抑えます。抗菌ガラス付ドレンキャップを取り付けたあと、下記方法で設定を行ってください。
(交換するドレンキャップ(内側)の中央に☆マークが付いている機種は既に設定済です。またその他の機種でも既に設定済の場合があります。下記項目に沿ってご確認ください。)

[ワイヤードリモコンの場合]

- 運転/停止ボタンを押してエアコンを停止させます。

- ① **セット** **取消** **点検** ボタンを4秒間以上同時に押します。

最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスです。
このとき選択されている室内ユニットのみ送風機が運転します。

- ② **ユニット選択** **ファン選択** ボタン左側を押すことに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。

このとき選択されている室内ユニットのみ送風機が運転します。

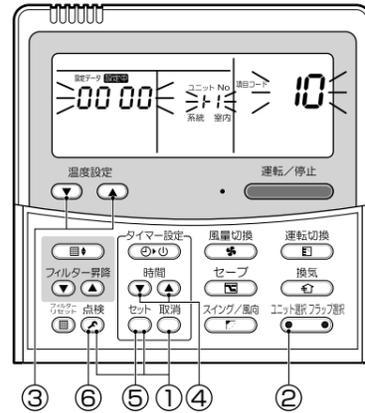
- ③ 温度設定 **▼** / **▲** ボタンで、項目コード **3E** を指定します。

- ④ タイマー時間 **▼** / **▲** ボタンで、設定データの中から **00 61** を選択します。

工場出荷時の設定は **00 02** です。(機種によっては設定済のものもあります。)

- ⑤ **セット** ボタンを押します。(表示が点滅から点灯になれば完了です。)

- ⑥ **点検** ボタンを押すと、通常の停止状態に戻ります。



[省エネ neo リモコンの場合] (リモコンの種類により、画面表示が異なります。)

- 運転/停止ボタンを押してエアコンを停止させます。

- ① 『メニュー』を押してメニュー画面を表示させます。

- ② メニュー画面で『**▼**』と『メニュー』を同時に4秒以上長押しすると現地設定メニュー画面(画面1)が表示されます。

- ③ 現地設定メニュー画面で『**▲**』『**▼**』を押して、『**詳細データ設定**』を選んで『**設定**』『F2』を押すと、「サービス用です。設定変更が必要ですか?」の画面が表示されるので、『**はい**』『F1』を押します。

- ④ “室内機”と“室外機”を選択する画面になった場合は、“室内機”が選択された状態で『**設定**』『F2』を押します。

* グループ接続を行っている場合はユニット選択画面(画面3)が表示されます。『**ユニット**』『F1』を押して設定を変える室内ユニットを選択します。このとき選択されている室内ユニットのファンが回転しますので位置を確認できます。

『**設定**』『F2』を押すと設定画面が表示されます。

- ⑤ 詳細データ設定画面(画面2)で『**<**』『F1』を押して、項目コード(DN)を白黒反転表示させ、『**▲**』『**▼**』を押して項目コードを「3E」に設定します。

- ⑥ 詳細データ設定画面で『**>**』『F2』を押して、データを白黒反転表示させ、『**▲**』『**▼**』を押してデータを「0061」に設定します。

(出荷時設定は「0002」です。機種によっては設定済みのものもあります。)

- ⑦ 『メニュー』を押すと、「他のデータも設定しますか?」が表示されるので『**いいえ**』『F2』を押します。“室内機”と“室外機”を選択する画面になった場合は『とりけし』を押します。“設定中”画面表示後に、現地設定メニュー画面が表示されます。

『とりけし』を2回押すと停止画面に戻ります。

* グループ接続を行っている場合はユニット選択画面に戻ります。設定を変えるすべての室内ユニットの設定を行ったあとに、『とりけし』を押すと“設定中”画面表示後に現地設定メニュー画面が表示されます。

『とりけし』を2回押すと停止画面に戻ります。



画面1：現地設定メニュー



画面2：詳細データ設定



画面3：ユニット選択画面